

鳥取市議会予算審査特別委員会総務企画分科会会議録

会議年月日	令和6年2月28日（水曜日）		
開 会	午後1時27分	閉 会	午後4時4分
場 所	市役所本庁舎7階 第1委員会室		
出席分科員 （8名）	委員長 砂田 典男 副委員長 長坂 則翁 委 員 柳 大地、岡田 実、西尾 彰仁、伊藤 幾子、 平野真理子、上杉 栄一		
欠席分科員	なし		
分科員外議員	坂根 政代、加嶋 辰史		
事務局職員	議事係長 谷島 孝子	調査係主任	萩原真智子
出席説明員	<p>【企画推進部】</p> <p>企画推進部長 塩谷 範夫 企画推進部経営統括監 河井登志夫 政策企画課長 上田 貴洋 政策企画課課長補佐 酒本 晶恵 <small>政策企画課地方創生・デジタル化推進室長</small> 西田 茂樹 <small>政策企画課地方創生・デジタル化推進室長補佐</small> 上田 芳郎 秘書課長 中川 直人 秘書課広報室長 松本 縁 文化交流課長 福山 博俊 文化交流課課長補佐 城市 索 情報政策課長 山根 寿彦 情報政策課課長補佐 松田 仁史</p> <p>【市民生活部】</p> <p>市民生活部長 竹間 恭子 地域振興課長 山名 常裕 地域振興課課長補佐 有田 博 協働推進課長 北村 貴子 協働推進課参事 山根 優子 協働推進課課長補佐 西垣 拓二 次長兼市民総合相談課長 大島 義典 市民総合相談課課長補佐 白間 純一 市民課長 西垣 隆司 市民課参事 林 公博 市民課課長補佐 中島 泉</p> <p>【環境局】</p> <p>環境局長兼生活環境課長 山根康子郎 生活環境課課長補佐 古網 竜也 環境局次長兼環境保全課長 上田 光徳 環境保全課参事 福政 民栄 環境保全課課長補佐 西澤 直也</p> <p>【総合支所】</p> <p>国府町総合支所長 山川 泰成 国府町総合支所副支所長 川口 泰弘 福部町総合支所長 平戸伊寿美 福部町総合支所副支所長 森 昌彦 河原町総合支所長 九鬼 栄一 河原町総合支所副支所長 武田 恵子</p>		

	用瀬町総合支所長 太田 潤一	用瀬町総合支所副支所長 岡本 秀一
	佐治町総合支所長 下田 俊介	佐治町総合支所副支所長 下石 直生
	気高町総合支所長 中原 登	気高町総合支所副支所長 久野 明男
	鹿野町総合支所長 岡本 幸子	鹿野町総合支所副支所長 小林 克己
	青谷町総合支所長 田中 隆志	青谷町総合支所副支所長 田中 陽一
傍 聴 者	3人	
会議に付した事件	別紙のとおり	

予算審査特別委員会総務企画分科会に切替え 午後1時27分 再開

【企画推進部】

◆砂田典男分科会長 それでは、予算審査特別委員会総務企画分科会を開催いたします。

議案第1号令和6年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分（説明）

◆砂田典男分科会長 議案第1号令和6年度鳥取市一般会計補正予算のうち、本委員会の所管に属する部分の御説明をお願いいたします。福山課長。

○福山博俊文化交流課長 はい。文化交流課、福山です。それでは、資料3、予算審査特別委員会説明資料に基づき、歳入・歳出の順に説明をさせていただきます。資料3、令和6年度当初予算事業別概要も、適宜説明に活用させていただきます。説明は、資料3の右の欄外に丸印をつけております。これについて行います。この資料のほうには、主に、歳入は100万円以上、歳出は300万円以上の事業をピックアップしておりますが、経常的な事業については、説明を割愛させていただく場合があります。また、事業費が小さくても、主要な事業については説明をさせていただくものもあります。

それでは、説明に入ります。資料の2ページをお開きください。まず最初に、使用料及び手数料、使用料、総務使用料、おもちゃ館使用料です。予算額は103万4,000円です。これは、おもちゃ館（わらべ館）の市営駐車場の料金収入になっております。なお、わらべ館利用者については、減免をしております。以上です。

◆砂田典男分科会長 西田室長。

○西田茂樹政策企画課地方創生・デジタル化推進室長 はい。デジタル化推進室、西田です。続きまして、国庫支出金、国庫補助金、総務費国庫補助金、総務費補助金でございます。デジタル田園都市国家構想推進交付金（地方創生推進タイプ）、1億2,478万8,000円でございます。これは、関係各課が行います地方創生推進事業に充当する事業補助金でございます。企画推進部が取りまとめて、一括で歳入予算計上をさせていただいているものでございます。各事業の補助率は、補助対象経費の2分の1となっております。以上です。

◆砂田典男分科会長 山根課長。

○山根寿彦情報政策課長 はい。情報政策課、山根でございます。総務費補助金、続きまして、

デジタル田園都市国家構想推進交付金（デジタル実装タイプ）を160万6,000円計上させていただいております。これは、施設予約システムに、地区公民館を追加する費用の財源として活用するものとなります。

続きまして、1段下のデジタル基盤改革支援補助金でございますが、こちらに1億7,460万4,000円を計上しております。これは、令和7年度に予定する、先ほど御説明した、標準化システムの移行に向けた準備作業のための国からの補助金を計上させていただくものでございます。

続きまして、民生費国庫補助金でございます。社会保障・税番号制度システム整備費補助金に492万円を計上しております。これは、令和8年度に更新される中間サーバーの更新に係る財源として活用するものとなります。以上です。

◆砂田典男分科会長 松本室長。

○松本 縁秘書課広報室長 はい。広報室、松本です。続きまして、資料3ページになります。03委託金です。03委託金、01総務費委託金です。予算書は135ページになります。これは、県政だよりと県議会だよりの配布業務の委託金として、県から受領するものです。予算額の573万4,000円の内訳ですが、その下に記載しておりますが、県政だより年12回分として425万5,000円、県議会だより年4回分として、147万9,000円となります。この委託金は、市報発刊配布費の財源に充当するものです。以上です。

◆砂田典男分科会長 福山課長。

○福山博俊文化交流課長 はい。文化交流課、福山です。その下の丸になります。県支出金、交付金、総務費交付金、市町村創生交付金です。予算額は494万4,000円になります。これは、文化芸術団体などが実施します、文化芸術に関する事業に対する補助金などに充当をしているものであります。

続きまして、その下のほうの丸です。繰入金、繰入金の中の基金繰入金、人づくり・まちづくり基金繰入金です。予算額は3,001万円です。これは、後に出てきますが、歳出のほうで出てきますが、鹿野の鳥の劇場に関しての事業であります、舞台芸術×地域活性化事業費及び文化施設のあり方に関する検討事業費に充当するものであります。

続きまして、はぐっていただきまして、4ページになります。一番上の丸です。諸収入の中の雑入であります。予算額は312万1,000円になります。これは、また歳出のところが出てきますが、環日本海拠点都市会議参加費（開催経費）です。これに充当するものであります。県内参加都市の負担金、これは、具体的には、米子市と境港市、こちらからの負担金になっていきます。以上です。

◆砂田典男分科会長 山根課長。

○山根寿彦情報政策課長 はい。情報政策課、山根です。雑入、続きまして、3つ下の東部広域電算事務負担金といたしまして、182万6,000円を計上しております。これは、文書管理や財務会計、それと、時間外や休暇などの管理を行います庶務事務システムにつきまして、東部広域行政管理組合とシステムの共同利用を行っておりまして、この収入は、そのシステムの使用や保守に係る費用の応分負担を、東部広域から頂くものとなっております。令和5年度が減額している要因ですけれども、こちらにつきましては、現システムのリース期間が、令和5年度で

満了しておりますことから、その費用が不要になったというところでございます。

続きまして、1つ飛ばしまして、その他の雑入（CATV設備使用料等）といたしまして、6,836万4,000円を計上しております。これは、本市が所有するケーブルテレビ施設の使用料として、主に日本海ケーブルネットワークや、鳥取テレピアの2社のケーブルテレビ局に、通信使用料として頂いているものでございます。以上です。

◆砂田典男分科会長 上田課長。

○上田貴洋政策企画課長 はい。政策企画課、上田です。その下の市債の総務管理債、その内訳の環境大学整備事業債と、同じ名称ですが、環境大学整備事業債（行政改革推進債）2,260万と250万を計上させていただくものでございます。環境大学の施設整備補助金の財源として活用させていただくものでございます。詳細は、歳出で説明させていただきます。以上です。

◆砂田典男分科会長 福山課長。

○福山博俊文化交流課長 はい。文化交流課、福山です。その下にあります、2つあります。市債の中の総務債の中の総務管理債であります。世界おもちゃ館整備事業債、2つ、これもありますが、これについて、予算額は、それぞれ7,390万、それから、820万になります。7,390万のほうは、わらべ館修繕費に起債を充当することによるものですが、こちらは、公共施設等適正管理推進事業債、それから、その下、もう一本、わらべ館修繕費に起債を充当することによるものということで、これは、行政改革推進債を充当するというので、予算要求を上げております。以上です。

◆砂田典男分科会長 山根課長。

○山根寿彦情報政策課長 はい。続きまして、同じく総務管理債で、1つ飛びました下の有線テレビジョン放送施設整備事業債でございます。1億710万円の計上と、それと、その1つ下の有線テレビジョン放送施設整備事業債（行政改革推進債）に1,180万円、そして、すみません、もう1つ下になります過疎対策事業債に1億8,680万円という、この3点を計上させていただいております。これは、今進めておりますケーブルテレビの光ファイバー化事業の令和6年度事業分の財源として計上させていただいているものでございます。

歳入の説明は、以上でございます。

◆砂田典男分科会長 松本室長。

○松本 縁秘書課広報室長 はい。広報室、松本です。続きまして、歳出の説明に入らせていただきます。資料の5ページを御覧ください。一番下になります。03文書広報費、01広報紙発刊配布費です。予算書は171ページになります。これは、市報や支所だよりの発刊に要する経費となります。財源の国・県支出金は、先ほど歳入で説明いたしました、県からの委託金となります。予算額は5,363万8,000円です。令和6年度の予算額が、5年度と比較して、655万9,000円ほど減額になっております。これは、令和6年5月号からになります。主に、市報と支所だよりの紙質を、現在のマットコート紙から、紙の厚みが薄い上質紙に変更することによる減額です。お手元に、サンプルとしまして、現在の3月号の市報と、サンプルとしまして、県政だよりをお配りしています。変更後は、県政だよりのような紙質になる予定ですので、御確認いただければと思います。これによりまして、市報や支所だよりの配布をお願いしている町内

会の負担軽減ですとか、令和4年度から、市報の穴、つづり穴の廃止、開けてお配りするのを廃止したことによりまして、厚みがあって、家では、家庭では開けられないといったような御意見もいただいております、そういったことで、御家庭でのパンチが空けやすくなるのではないかと考えているところです。

続きまして、6ページを御覧ください。1段目の市政広報費でございます。予算書は171ページ、予算額は5,616万円です。事業別概要は62ページの上段です。これは、ケーブルテレビやFM鳥取での放送、新聞、民放テレビなどで、各種メディアなどで、効率的に市政情報を提供するための経費となります。令和6年度には、新たにLINEやインターネットの広告の経費を計上しております。その他財源の20万9,000円は、鳥取駅地下道の掲示スペースを使用して広告を行う業者からの広告収入となります。

続きまして、上から4段目の鳥取市知名度アップ大作戦事業費です。事業別概要は62ページ下段となります。予算額は1,774万5,000円で、その他財源は、ふるさと納税基金繰入金となります。令和6年度も、引き続き、鳥取市で生き生きと暮らす市民の皆様をキャッチコピーとして、#鳥取家族として市民参画を促しながら、本市のイメージアップや認知度向上に取り組んでいきたいと考えております。この#鳥取家族をキャッチコピーとした取組は、令和2年度から継続しております、令和6年度は5年目を迎えますので、これまでの取組の集大成的なプロモーションを展開したいと考えております。以上です。

◆砂田典男分科会長 上田課長。

○上田貴洋政策企画課長 はい。政策企画課、上田です。下のさらに下の青色の丸の部分です。企画費、総合企画費の若者定住促進事業費です。事業別概要は58ページの上段になります。事業別概要で説明しますので、そちらを御覧いただきたいと思います。58ページの上の段になります。若者定住促進事業費、予算額としまして1,308万3,000円を計上しております。右の事業の概要の中の真ん中辺りですけど、事業の内容を御覧いただきたいと思います。この事業につきましては、御存じのところではありますけども、結婚による若者定住を促進するために、麒麟のまち婚活サポートセンターを業務委託で運営しております、婚活イベントですとか、各種セミナーを開催するなど、出会いから結婚までのサポートを実施しているものでございます。運営の委託に当たりましては、昨年度、令和5年度から、イベント参加者数と、新規のイベントの会員数、こちらに目標を設定しまして、その目標に至らなかった場合については、事務費を実費精算で委託料から減額する仕組みを入れさせていただいております。また、その逆に、その年度の会員同士、会員さん同士の結婚された数が7組以上になった場合ですけども、その際には、1組につき20万円を委託料に加算させていただく、そういった仕組みも入れております。

予算額、こちら、前年度と比べますと、337万2,000円増加しております。これについては、主に、センターの会員さんの管理システムがありまして、こちらの業者のサポート対応切れとなる関係で、システム改修が生じたことというものによるものでございます。それから、財源内訳に補助金が上がっておりますけども、こちらは、この運営委託費のおおむね2分の1ですけども、国のデジタル田園都市国家構想、先ほどございましたけども、デジ田交付金の地方創

生推進タイプを活用しております。以上です。

◆砂田典男分科会長 西田室長。

○西田茂樹政策企画課地方創生・デジタル化推進室長 はい。デジタル化推進室、西田です。続きまして、その下でございます。総合計画策定事業費 1,386万5,000円でございます。事業別概要は58ページの下段になります。また、本事業につきましては、令和6年度、7年度、2か年を予定しております。債務負担行為の設定につきましては、事業別概要の266ページ、こちらを併せて御覧をいただけたらと思います。これは、現行の第11次総合計画、基本計画が、令和7年度で期間満了となることから、令和8年度を始期といたします第12次鳥取市総合計画、及び、その重点施策となります第3期鳥取市創生総合戦略の策定に取り組むための経費でございます。内訳としましては、令和6年度に実施を予定しております、市民、それから学生等に対します意識調査や、市民ワークショップ等の開催支援、また、総合計画の策定作業の全般の支援、これらを業者に委託するための委託料としまして、令和6年度予算のうちの1,349万3,000円と、それから、令和7年度の債務負担行為額150万円を合わせまして、1,499万3,000円、これが委託料になります。令和6年度の残りの37万2,000円、これがワークショップ開催に係る諸費用でございます。以上です。

◆砂田典男分科会長 上田課長。

○上田貴洋政策企画課長 はい。政策企画課、上田です。元の一覧の資料に戻っていただきまして、6ページの次の7ページ、7ページをお開きください。上の青いところになります。麒麟のまち創生推進事業費です。こちら、事業別概要を御覧いただきたいと思います。ページ番号は59ページになります。59ページです。麒麟のまち創生推進事業費で、予算額が345万3,000円を計上しております。こちらは、因幡・但馬北部の1市6町で、因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏を形成しております。圏域の発展を目指して、様々な取組を行っているところでございます。

この事業別概要の真ん中の事業の内容を御覧いただきたいんですけども、毎年度、市長、町長さん方による戦略会議を開催しております。それから、連携ビジョンの懇談会、こういったものを開催しております。取組の進捗管理などを行っておりますので、令和6年度も実施させていただくというものでございます。それから、圏域の構成市町で協力しまして、圏域住民の相互理解を図るためのエリアプロモーション事業、こういったものにも取り組んでおります。令和6年度は、圏域の住民の方が魅力を感じておられるような推しスポットをSNSで募集するキャンペーンを実施したいというふうに考えております。

予算の内容としましては、先ほどのビジョン懇談会の委員報酬や旅費、それから、エリアプロモーション事業の委託料、記載しておりますけど、298万6,000円などとなっております。また、このエリアプロモーションの委託料経費の2分の1につきましては、先ほどのデジタル田園都市国家構想の地方創生推進タイプという補助金を活用しております。

また一覧に戻っていただきまして、同じく7ページの次のところになります。東部広域行政管理組合運営費等負担金等の中の東部広域行政管理組合負担金でございます。こちらは、予算額が5,662万9,000円を計上しております。県東部の1市4町で組合をつくっております。

市町村で行う事務を共同処理しているというものです。東部広域の業務につきましては、ちょっと午前中の委員会でも御紹介しましたけども、介護認定審査ですとか、可燃物の処理など、様々な業務を行っておりまして、本市の組合の事務のそれぞれの所管課において、負担金を予算計上しているというところがございます。政策企画課につきましては、議会費ですとか一般管理費、こちらを計上させていただいております。以上です。

◆砂田典男分科会長 山根課長。

○山根寿彦情報政策課長 はい。続きまして、地域情報化推進費でございます。3,442万2,000円を計上させていただいております。事業別概要は69ページ上段になりますので、併せて御覧いただけたらと思います。本事業は、市立小学校・中学校、それと、地区公民館をはじめとする市の公共施設のインターネット接続環境や、公衆無線LAN整備のための費用、それと通信費、管理運営費を行います。それと、あと、携帯電話やコミュニティFMラジオの不感地区対策のための鉄塔施設の維持管理費、それと、とっとり施設予約サービスなど、市民に御利用いただくサービス利用料や、運営費などの地域情報化に推進するための経費を計上させていただいております。令和6年度には、指定避難所3か所に、新たに公衆無線LAN環境の整備をするための費用や、FM鳥取の電波改善に係る費用を計上して、災害時の情報伝達手段の確保に努めていくほか、施設予約システムに地区公民館を追加する費用も計上させていただいております。市民サービスの向上に努めてまいりたいと思っております。以上です。

◆砂田典男分科会長 福山課長。

○福山博俊文化交流課長 はい。文化交流課、福山です。その下の網かけになります。同じく企画費の中の鳥取世界おもちゃ館運営委託費等の鳥取世界おもちゃ館施設管理費であります。予算額は1億7,030万4,000円です。これは、世界おもちゃ館（わらべ館）の管理運営に要する経費となっております。中身としては、指定管理料、修繕費、また、利用者の利便性向上のために、わらべ館駐車場が満車だった場合に、片原駐車場の利用した方に対して、その駐車料金を補填するということを行っておりますので、そういった経費になっております。

続きまして、その下です。同じく企画費の中の鳥取世界おもちゃ館駐車場運営委託費等、鳥取世界おもちゃ館駐車場管理運営費であります。予算額は627万3,000円です。これは、おもちゃ館（わらべ館）の駐車場、管理棟、トイレなどの維持管理に要する経費であります。中身としては委託料、光熱水費、精算機リース料等になっております。

続きまして、7ページの最後です。同じく企画費の中の国際交流促進費の中の国際交流員配置事業費であります。予算額は1,225万2,000円です。これは、文化交流課に配属されております国際交流員3名の配置に要する経費になっております。中身としては、報酬、共済費等になります。ちなみに、今の3名の内訳ですが、ドイツ・韓国・中国、それぞれ1名ずつ担当者を置いているところです。以上です。

◆砂田典男分科会長 山根課長。

○山根寿彦情報政策課長 はい。資料のほう、8ページへお進みください。資料8ページの一番下になります。超高速情報通信基盤整備事業費でございます。3億595万円を計上させていただいております。事業別概要は69ページの下段になりますので、併せて御覧ください。この事

業は、現在進めております、本市が所有するケーブルテレビ網の光ファイバー化に係る経費でございまして、令和5年度末、今年度末には、幹線ケーブルは全て敷設が完了いたしますので、令和6年度以降、今後は、加入者宅との接続に伴う工事を実施していきたいというふうに考えております。あわせて、河原地区につきましては、古い設備の撤去も実施していきたいというふうに考えておるところでございます。令和6年度の事業予定分といたしましては2件ございまして、まず、加入者宅の接続工事については1,300件分を予定しております、事業費として、約2億5,000万円を予定しております。それと、先ほど言いました河原地区の旧設備の撤去工事でございますが、こちらは6,400万円を予定して計上させていただいているものです。以上です。

◆砂田典男分科会長 福山課長。

○福山博俊文化交流課長 はい。文化交流課、福山です。続きまして、その9ページの一番上になります。同じく企画費の中の城下町とっとりまちづくり推進事業費、歴史的建造物保存活用事業費であります。予算額は1,593万円になります。これは、城下町とっとり交流館、高砂屋の管理運営事業に要する経費となっております。中身としては、指定管理料、修繕費等となっております。

続きまして、その下です。同じく企画費の中の環日本海拠点都市会議参加費であります。予算額は559万6,000円です。これは、先ほど補正予算等の説明でもありましたが、毎年4か国の持ち回りで、この会議を開催しております。令和6年度は、本市が開催都市となっております。現時点では、オンライン形式による開催を予定しております。それに要する経費として、委託料等を計上させていただいております。以上です。

◆砂田典男分科会長 上田課長。

○上田貴洋政策企画課長 はい。政策企画課、上田です。その下になります。公立大学法人運営事業費の環境大学運営費交付金でございます。事業別概要は61ページの上段となります。61ページを御覧ください。環境大学運営費交付金で、予算額5億6,360万5,000円を計上しております。こちら、環境大学の運営費経費につきましては、共同設置者である県と市で、2分の1ずつ負担しているものでございます。

事業の内容、概要の中の真ん中辺り、内容を御覧いただきたいと思います。本市は、大学に対しまして、記載の3つの交付金を交付しております。1つ目は、大学の安定運営の財源となります運営費交付金でございます。4億9,693万円となっております。

次に、2つ目でございますが、大規模修繕等の財源となります施設整備費補助金、こちらが2,515万8,000円となっております。こちらの財源につきましては、先ほど歳入で説明しましたけども、起債を充てるようにしております、全体額の起債発行10万円単位でございますので、10万円単位で計算しまして、9割部分を脱炭素化推進事業債という起債を活用します。交付税措置が、おおむね3から5割程度措置されるものでございます。残り1割につきましては、行政改革推進債、こちら、交付税の措置はございませんけども、こちらを充てまして、10分の10で財源を確保するというものでございます。この活用する起債につきましては、県についても同様の措置というふうに伺っております。

令和6年度の施設整備の内容としましては、情報メディアセンターなどの照明のLED化、こちらを実施するための設計費と、それから、工事費ということで1,876万8,000円、それから、本部・講義棟などの屋上の断熱防水工事を行うための設計費用ということで100万円、それから、太陽光発電工事の設計費用、こちら114万円、最後に、本部・講義棟などの外壁や窓ガラスの断熱改修工事の設計に425万円というような内訳となっております。また、この施設整備につきましては、国の脱炭素先行地域に係る交付金も有効活用する計画としております。

事業別概要の145ページをお開きいただきたいと思います。145ページ、経済観光部の事業のページになります。145ページの上段に、スマートエネルギータウン構想推進事業費というものがございます、こちらは、スマートエネルギーの推進室のほうが所管している予算でございます。この事業の概要の真ん中に、事業の内容とありまして、丸が2つ分かれておりまして、2つ目の丸の脱炭素先行地域づくり事業というものがありまして、その中が（1）、（2）と分かれておりまして、（2）になります。公立鳥取環境大学ZEB化等ということで、補助対象経費に対しまして、補助率3分の2で、1億9万1,000円という交付金が予算で計上されております。この交付金によりまして、県と市の負担軽減も図りながら、先ほど予算で説明しました、政策企画課のほうの所管になりますが、県・市折半による施設整備補助金も合わせた財源で、環境大学が、こういった事業を実施されるというような計画でございます。

61ページにお戻りください。はい。61ページ、先ほどの環境大学運営費交付金の続きとなります。3つ目の交付金は、高等教育の修学支援新制度によりまして、入学金と授業料の減免の財源となります、授業料減免費等交付金4,151万7,000円となっております。以上でございます。

◆砂田典男分科会長 山根課長。

○山根寿彦情報政策課長 はい。情報政策課、山根です。資料9ページの下段になりますが、電算処理費でございます。電算処理費全体で、8億7,932万6,000円を計上させていただいております。これは、住民情報をはじめとする各種情報システムの運用管理に係る経常的経費を計上させていただいているものとなっております。

令和6年度の特徴的な事業といたしましては、資料のほう、10ページへお進みいただきたいんですけども、10ページの1段目で、住民情報システム管理費の中の次期基幹システム構築事業費に、1億8,252万4,000円を計上しております。事業別概要は70ページの上段になります。本事業は、午前中御説明いたしました、システム標準化に関わる事業費を計上させていただいております。令和6年度には、標準仕様書とのフィットアンドギャップ分析と言われる適合性分析ですね、こういった作業であるとか、システム設定、データ移行に伴う作業を進めていく考え方を持っております。ただ、このたび上げさせていただいている事業費は、国の基準額を上限といたしまして計上させていただいておりますので、今後変動があれば、補正対応をさせていただきたいと考えております。

続きまして、説明資料1つ下の内部情報システム管理費でございます。内部情報システム管理費、庁内LANシステム管理費でございます。2億5,639万4,000円を計上させていただいております。これは、庁内LAN、庁内ネットワークシステムや、セキュリティー対策、それと、職員パソコンなどの管理・運用に要する経費を計上させていただいております。令和6年

度には、鳥取地域の小・中学校のネットワークの統合作業であるとか、新本庁舎ネットワークや、Microsoft Officeと言われるソフトウェアのライセンスの更新を予定しております。それに伴う費用が増加しているものと考えております。以上です。

◆砂田典男分科会長 福山課長。

○福山博俊文化交流課長 はい。文化交流課、福山です。続きまして、11ページに入ります。一番上の網かけのところ。教育費、社会教育費の中の文化振興費であります。予算額は785万1,000円です。これは、将来の文化芸術振興の担い手育成等を目的とした演奏会等の開催、あるいは、文化団体育成のための活動補助や、施設使用料減免に要する経費などになっております。

続きまして、その下です。同じく文化振興費の中の文化芸術推進事業補助金であります。予算額は734万円です。これは、自主的な文化芸術活動の促進によりまして、文化芸術の振興を目的としております。文化芸術団体が実施する各種団体、各種事業に対する補助に要する経費となっております。

そして、その下です。同じく文化振興費の中の文化施設のあり方に関する検討事業費であります。予算額は1,905万3,000円です。これは、午前中も少しお話ししましたが、このたび策定しましたホール等文化施設の在り方に関する基本方針、これに基づいて、中心市街地における新たな施設の整備と、既存施設の縮減の取組を推進していく予定です。この中で、新たな文化施設の整備に係る基本計画の策定に向けて、専門家などで構成する、新たな検討組織の設置、そして、専門業者による調査、こういったことに要する経費となっております。中身としては、報償費、委託料等ということです。

そして、その下です。同じく文化振興費の中の舞台芸術×地域活性化事業費であります。予算額は1億2,544万7,000円です。これは、鹿野町を拠点に幅広い活動を展開しておられます、展開し、地域活性化に寄与しておられます、劇団鳥の劇場を支援してきております。令和5年度、今年度から、国のデジ田交付金を活用しまして、県や地域住民などと連携しながら、この舞台芸術を核とした人材育成、あるいは交流促進、産業振興、にぎわい創出などの取組を、一体的に推進をしているところです。令和6年度予算の中では、新たな劇場バックヤード施設の建設のほか、演劇人材を育成とする演劇塾の開催、また、小学生を対象とした劇場空間体験、演劇を通じた企業人材の育成、地域との連携による演劇祭の開催などの取組に対する支援を予定しております。これらに要する経費となっております。中身としては、補助金、委託料等となっております。

はぐっていただきまして、12ページになります。一番最後のところです。教育費の中の社会教育費の中の市民会館管理費の中の施設管理費、市民会館施設管理費になります。予算額は5,048万3,000円です。これは、市民会館の管理運営に要する経費、中身としては、指定管理料、あるいは、駐車場利用減免補填等、片原駐車場ですね、となっておりますが、もう1つ、令和5年度では、午前中の説明にも関連しますが、空調等が非常に不調な状態になっております。こういったことを踏まえまして、現況調査を委託する経費、これを中身に含めております。この現況調査を行った上で、仮に、その設備の更新等をするとすれば、どのぐらい経費がかかるのかというような試算なども行っていただく予定としておるところです。

以上で、令和6年度当初予算の説明を終わります。

◆砂田典男分科会長 本日の分科会では、この議案につきましては説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認等はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男分科会長 よろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○福山博俊文化交流課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 福山課長。

○福山博俊文化交流課長 失礼しました。債務負担行為の説明で、先ほど、第12次総合計画の策定支援業務については少し説明がありましたので、残りの2つ、案件があります。事業別概要の267ページ、それから、268ページ、文化交流課の関連がございますので、簡単に説明をさせていただきますしたいと思います。

まず、267ページのほうです。指定管理制度に基づき指定管理者に委託する鳥取世界おもちゃ館の管理運営費であります。限度額としては2,166万4,000円です。これは、県のほうが、鳥取県において、昨今の大幅な人件費、あるいは物価の上昇を踏まえまして、本年1月、県の指定管理施設全施設において、人件費、その他事業費を再算定し、令和6年度以降の指定管理料の増額を行う方針を県のほうが示されました。この中で、人件費については、令和5年度人事院勧告の基礎となっております民間給与実態調査、これを反映した単価で基準額を再算定し、増額を行う。その他の事業費については、令和5年度の県消費者物価指数の伸び率、具体的にいきますと、4.1%プラスに合わせて増額をするという考え方です。

これを踏まえまして、わらべ館については、県・市の共同管理施設ということも踏まえまして、県と協調し、本市においても、債務負担額の増額を行わせていただきたいというものであります。なお、令和6年度の増加分については、先ほど説明しました、当初予算のほうに反映をしております。したがって、令和7年度から10年度の増加分を追加、債務負担額としてお願いをするものであります。

そして、その次です。268ページのほうです。鳥取世界おもちゃ館の中央熱源機器改修工事委託費であります。限度額としては1億566万1,000円です。これについては、午前中、繰越明許のところで説明をさせていただきましたが、熱源の設計業務の関連です。現時点において、設計業務の完了が、本年6月頃となる見込みのため、工事発注時期が、それ以降になることに加えて、昨今の半導体不足や物価高騰の影響によりまして、材料調達に時間を要することが見込まれております。こういったことを踏まえまして、当初から工事期間を2年間に設定し、令和7年度分の工事委託費、債務負担額としてお願いをするものです。なお、工事については、従前と同じように、業者選定から実施までを鳥取県に委託する方式で予定をしておるところです。説明は以上です。失礼しました。

◆砂田典男分科会長 本日の分科会では、この議案につきましては説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認等はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男分科会長 いいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男分科会長 はい。

それでは、予算審査特別委員会総務企画分科会を一旦終了いたします。企画推進部の皆様は、お疲れさまでした。ありがとうございます。

総務企画委員会に切替え 午後2時13分 休憩

予算審査特別委員会総務企画分科会に切替え 午後3時10分 再開

【市民生活部】

◆砂田典男分科会長 それでは、総務企画委員会を終了し、予算審査特別委員会総務企画分科会を開催いたします。

議案第1号令和6年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分（説明）

◆砂田典男分科会長 それでは、議案第1号令和6年度鳥取市一般会計予算のうち、本委員会の所管に属する部分の説明をお願いいたします。竹間市民生活部長。

○竹間恭子市民生活部長 はい。すみません。担当課長からの説明に先立ちまして、2月13日の当初予算の概要説明で、私が説明しましたことに間違いがありましたので、この場をお借りして訂正させていただきたいと思います。事業別概要書の80ページ下段にあります地区公民館改修等事業費についてです。

その説明をさせていただいた際に、解体の工事については、旧谷地区公民館と旧西郷地区公民館でそのまま合っておりますが、修繕の部分で、稲葉山・富桑・美穂・日置地区公民館の修繕に取り組みますということで説明させていただきましたが、正しくは、美穂と日置地区公民館の2館となりますので、訂正させていただきたいと思います。申し訳ございませんでした。

◆砂田典男分科会長 美穂は、保つと稲穂がありますけど、どちらですか。

○竹間恭子市民生活部長 稲穂のほうの美穂になります。

◆砂田典男分科会長 はい。

○竹間恭子市民生活部長 では、あと、担当課長のほうから、当初予算について説明させていただきます。

◆砂田典男分科会長 北村課長。

○北村貴子協働推進課長 はい。協働推進課、北村でございます。議案第1号令和6年度鳥取市一般会計予算、市民生活部に属する部分の説明につきましては、お配りしております資料3により説明させていただきますので、お手元に御用意をお願いいたします。説明に当たりましては、特筆すべき事業について説明させていただくこととしておりまして、説明項目につきましては、ページの右側欄外に丸をつけております。また、歳入につきましては、歳出の事業と併せて説明をさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、資料3、15ページを御覧ください。最上段でございます、総務費、総務管理費、

一般管理費、自治基本条例推進事業費、事業名が自治基本条例推進事業費、予算額67万8,000円について御説明いたします。事業別概要は77ページ下段でございます。よろしいでしょうか。これは、本市のまちづくりのルールを定めました鳥取市自治基本条例の趣旨が、広く市民に浸透いたしまして、市民と市が参画と協働のまちづくりを推進することを目的としております。主な内容としましては、市長の諮問機関であります市民自治推進委員会の委員報酬ですし、隔年で開催しております参画と協働のまちづくりフォーラムの費用を計上しております。また、鳥取市自治基本条例は、4年を超えない期間ごとに、各条項が社会情勢に適合しているかどうか検討することとしておりまして、令和6年度に検討していくこととしております。以上でございます。

◆砂田典男分科会長 大島次長。

○大島義典次長兼市民総合相談課長 市民総合相談課、大島でございます。続きまして、その下、18消費生活対策費です。事業別概要は81ページ上段です。消費生活センターでは、消費生活相談員が、消費生活に関するトラブルの解決に向けて、相談者への助言や関係者間のあっせんを行っておりますとともに、消費者教育推進計画に基づいて、消費者教育や啓発に取り組んでいるところでございます。予算額は1,387万9,000円で、内訳は、消費生活相談員3名分の人件費約1,092万円、消費者教育・啓発のための講演会やイベント等に係る経費、約134万円、消費者被害防止のための寸劇開催やリーフレット作成、録音機能付電話購入補助などの経費、約51万円などが主なものでございます。特定財源のうち、国・県支出金114万4,000円は、啓発事業や被害防止に関わる事業等の財源として、鳥取県消費者行政強化交付金を充当しております。また、その他財源の22万3,000円は、金銭教育講座等の開催に関わります金融広報委員会推奨事業助成金でございます。

続けて、その下の22市民サービス費のコールセンター設置運営費です。事業別概要は81ページ下段になります。予算額は8,531万3,000円で、令和元年9月に開設しました鳥取市コールセンターの運營業務等の委託料です。市民からの電話等による問合せに対して、FAQや市のウェブページなどを基に、1次応答や電話交換業務を行っているところですが、6年度は、9月からの契約更新に向けまして、この3月1日に、公募型プロポーザルを実施しまして、事業者からの提案内容や金額等を審査した上で、次期委託事業者の選定を行った後、3月中に契約を完了させたいと考えております。今回の予算額ですが、更新部分につきましては、12月議会で議決いただきました債務負担額を基に算出しております。内訳としましては、旧契約分として、4月から8月の5か月分の運営費が2,049万2,000円、更新に伴う構築業務分として、2,746万2,000円、更新後、9月から翌年3月までの7か月分の運営費として3,728万円、それと、災害時、緊急業務に関わる分、これは別契約としておりますが、7万9,000円としておりまして、合計8,531万3,000円としているところでございます。以上です。

◆砂田典男分科会長 西垣課長。

○西垣隆司市民課長 はい。市民課、西垣です。続きまして、その下、総合窓口管理事務費でございます。予算額は8,981万6,000円でございます。事業の内容につきましては、事業別概要82ページ上段の総合窓口管理事務費を御覧ください。事業の概要ですが、市民総合窓口業務及

び総合案内業務の業務委託に関する経費と、市民・福祉・税の3つの総合窓口において使用しています受付番号発券システムの運用管理費に関する経費となっております。令和6年度は、3年間の市民総合窓口などの業務委託契約の最終年度となっていることから、プロポーザルに関する経費を計上しております。

なお、事業費が前年と比べ増となっておりますが、これは、市民課には、任期付短時間勤務職員という職で勤務する職員がございましたが、この職が令和5年度で終了し、この職にあった職員は、会計年度任用職員に移行することとなりました。令和5年度までは、職員費の中に、全ての任期付短時間勤務職員の人件費が含まれておりましたが、令和6年度は、各事業に会計年度任用職員の人件費が割り当てられることになり、本事業にも割り当てられているため、増となっているものでございます。以上でございます。

◆砂田典男分科会長 山名課長。

○山名常裕地域振興課長 はい。その下段でございます。人材誘致・定住促進対策事業費でございます。予算書が175ページ、事業別概要は72ページ上段、企画費、総合企画費です。予算額は5,211万円でございます。この事業は、本市への移住定住を促進するため、相談窓口の設置に係る経費、首都圏で開催される相談会への出展費用、各種支援補助金、専用ポータルサイトによる情報発信に係る費用、お試し定住体験施設、また、中山間地域での空き家の利活用などの団体への委託、そういったものを予算計上しております。財源内訳につきましては、国・県支出金が1,524万4,000円、これは主に、移住支援金ほか県補助金でございます。その他財源が21万6,000円、これは、お試し定住体験施設の体験料でございます。一般財源が3,665万円となります。

続きまして、その1つ下の丸印でございますが、予算書175ページ、事業別概要72ページ下段、企画費、総合企画費のとっとり・つながり創出事業費です。予算額は90万3,000円でございます。この事業は、本市の関係人口創出に向けて、新たに事業化したものでございます。

1つ目に、鳥取県東部の高校生グループが、SNSのインスタグラムで、麒麟のまち圏域に関する情報発信を行い、フォロワー数や投稿内容を競う、とっとり・つながりインフルエンサーグランプリを開催するものでございます。この取組によりまして、本市の高校生が、今後、県外に進学・就職した際においても、このインスタグラムでのつながりが継続し、ふるさとに関する情報を、引き続き受けることができる環境の構築の実現を図ろうとするものでございます。

2つ目、本市の中山間地域において、県外在住者を対象とした移住体験ツアー、田舎暮らし体験ツアーを実現するもので、内容として、先輩移住者や地域住民との交流を軸とした農業体験や、地域資源に触れていただくものを実施するもので、これにより、鳥取とのつながりをつくり出していこうとするものでございます。財源内訳は、国・県支出金が26万2,000円、これは、移住定住推進交付金でございます。一般財源が64万1,000円となります。

続きまして、16ページをお開きください。予算書は175ページ、事業別概要は74ページ、企画費、地域振興対策費、中山間地域・買い物支援事業費でございます。予算額は1,142万3,000円です。この事業は、2月補正でも説明しましたとおり、本市の中山間地域で、移動販売の運

営支援や、あと、見守りを組み合わせた買物福祉サービスの取組支援により、買物が困難な地域における買物環境の確保、中山間地域で、安心して暮らし続けることができるための環境づくりを目指すものでございます。令和6年度は、移動販売の運営支援を3事業者に、買物福祉サービスを4事業者に対し支援する予定でございます。財源内訳は、国・県支出金が571万円、地方債が160万円、一般財源が411万3,000円となります。

続きまして、その下段の丸でございます。予算書は175ページ、事業別概要は74ページ、企画費、地域振興対策費でございます。中山間地域・地域遊休施設活用支援事業費です。予算額は500万円です。この事業は、鹿野地域の空き家を改修して、空き家の解体や片づけをするときに、多くの古民具や古材が出てきます。こちらを、ストック・再活用するための活動拠点の取組を、活動拠点を整備し、リユース、アップサイクルなどにより、地域活性化につなげようとする取組、こちらを支援するものでございます。財源内訳は、国・県支出金が300万円、これは、みんなで取り組む中山間地域活性化総合支援事業費補助金で、県の補助金です。一般財源が200万円となります。以上です。

◆砂田典男分科会長 北村課長。

○北村貴子協働推進課長 はい。協働推進課、北村でございます。19ページを御覧ください。下から3項目めの14公民館費です。令和6年4月から、地区公民館を、教育委員会から市長部局へ移管することに伴いまして、これまで教育費にひもづいていた地区公民館の管理運営に係る全ての予算を、総務費にひもづけております。このため、それぞれの欄、前年度予算額欄が空欄となっておりますので、説明に当たりましては、前年度予算額をお示ししながら説明させていただきたいと思っております。なお、事業名、事業内容に大きな変更はございませんし、生涯学習事業に係る予算については、引き続き教育委員会が計上しております。

それでは、まず、地区公民館コミュニティ推進費、地区公民館コミュニティ推進費でございます。予算額6億6,096万9,000円、前年度予算額が5億5,349万3,000円、前年度比1億747万6,000円の増額でございます。これは、公民館長を含む地区公民館職員240名の報酬、職員手当、共済費などの人件費です。増額の大きな要因といたしましては、令和5年度の給与改定と、令和6年度から、勤勉手当の新設があります。財源につきましては、全て一般財源でございます。

すぐ下の項目、地区公民館運営費、地区公民館総務費でございます。予算額1,756万9,000円、前年度予算額1,694万8,000円、前年度比62万1,000円の増額でございます。主な内容といたしましては、地区公民館の事務員の賃金、約812万3,000円、協働推進課の事務員の人件費277万3,000円、地区公民館総合補償保険320万円などでございます。これも、全て一般財源でございます。

一番下の項目でございます。地区公民館運営費です。予算額967万8,000円、前年度予算額704万7,000円、前年度比263万1,000円の増額でございます。主な内容は、地区公民館の管理に係る消耗品などの需用費となっております。各地区公民館に配分するものでございます。この幅広の活用の見直しに合わせまして、少し、各地区公民館に配分する金額を増額させていただいているところでございます。

続きまして、ページをめくっていただきまして、20ページ、最初の項目でございます。地区公民館施設管理費、地区公民館施設管理費でございます。予算額1億1,918万4,000円、前年度予算額1億2,376万5,000円、前年度比458万1,000円の減額でございます。これは、地区公民館61館の施設の維持管理を行うための予算となっております、具体的には、地区公民館の小規模修繕、光熱水費、建物総合損害共済金、事務室の警備委託料、廃棄物収集の委託料等となっております。その他財源の2,410万1,000円の内訳でございますが、公共施設等整備基金繰入金が1,060万円、雑入50万6,000円、その他雑入1,169万2,000円、地区公民館の使用料103万3,000円となっております。以上でございます。

失礼しました。一番、次の下の項目でございます。地区公民館改修等事業費でございます。予算額1億1,802万8,000円、前年度予算額5,139万5,000円、前年度比6,663万3,000円の増額でございます。事業別概要は80ページ下段でございます。先ほど、部長の説明でもございました、主な内容は、稲穂、美穂地区公民館と、日置地区公民館の高圧受電設備の低圧化修繕650万円、旧谷地区公民館と、旧西郷地区公民館の解体工事9,597万1,000円、2館の解体工事に係る家屋等工損損害調査の委託業務として、1,199万6,000円、修立地区公民館、植栽の整備業務117万9,000円でございます。この修立地区公民館の植栽整備業務は、鳥取県が行う若葉台東町線の拡幅に伴いまして、修立地区公民館の敷地の一部を売却するために、道路工事前の植栽の伐採と、道路工事後に再整備を行うものでございます。財源で、その他財源の117万9,000円ですけれども、これは、先ほど説明しました、県道、若葉台東町線の拡幅に伴う移転補償費339万円の一部を充当するものでございます。

歳入の11ページを御覧いただけますでしょうか。11ページ、下から2項目め、移転補償費339万円でございます。その一部の117万9,000円を充当しております。関連いたしまして、土地の売払い収入につきましては、10ページ、一番下の項目でございます。土地の売払い収入が157万4,000円となります。以上でございます。

◆砂田典男分科会長 西垣課長。

○西垣隆司市民課長 はい。市民課、西垣です。それでは、20ページに戻っていただきまして、中段、戸籍事務費でございます。予算額は4,937万4,000円でございます。まず、この戸籍事務費と、その下、住民基本台帳事務費、印鑑その他証明事務費が、前年度と比べて増となっておりますが、こちらも、先ほど御説明いたしました任期付短時間勤務職員の職が、令和5年度で終了し、各事業に、会計年度任用職員の人件費が割り当てられたことによる増となっており、その反面ですが、戸籍事務費の上段にあります職員費につきましては、今まで含まれていました任期付短時間勤務職員の人件費がなくなったため、減額となっております。

戸籍事務費につきましては、昨年度までは、リース契約が終了しました戸籍システムの機器の無償譲渡を受け、保守料のみの契約として、経費削減に努めてまいりましたが、令和5年度に、新たなリース契約を締結し、新たな機器を導入したことによる賃借料の増と、令和6年度から、会計年度任用職員の人件費が本事業に割り当てられたため、増額となっております。なお、当初予算への計上は見送っておりますが、令和6年度には、氏名の振り仮名法制化に対応するため、氏名の振り仮名を仮登録し、仮登録した氏名を、該当する方へ通知するための準備

作業が必要になることから、概要が定まり次第、補正予算にて、必要経費を計上させていただきたいと考えております。

続きまして、ページめくっていただきまして、21 ページ上段、個人番号カード関連事務費でございます。予算額は6,239万7,000円、財源内訳は、全額、社会保障・税番号制度システム整備費補助金でございます。事業の内容につきましては、事業別概要の83 ページ上段の個人番号カード関連事務費を御覧ください。事業の概要ですが、前年度当初予算と比較し、イオンモール鳥取北に開設しておりました申請窓口を終了としたため、令和6年度の要求額、大きく減額となっておりますが、令和6年度の予算額には、先ほど、議案52号で御説明いたしました、郵便局でのマイナンバーカードの電子証明書の発行・更新等に係る経費を、新たに予算計上しております。取扱件数に応じた業務委託料、郵便局で使用します住民基本台帳ネットワークシステム端末のリース料、郵便局と市役所を新たにつなぐ通信回線の整備費用、新たに設置しました通信回線の利用料などを含んだ経費でございます。今後増加することが予想されておりますマイナンバーカードの電子証明書更新手続について、市民の皆様が、わざわざ市役所を訪れなくても手続できる環境を整備していきたいと考えております。以上でございます。

◆砂田典男分科会長 上田次長。

○上田光徳次長兼環境保全課長 はい。めくっていただきまして、22 ページ中段でございます。失礼いたしました。環境保全課、上田です。産業廃棄物対策費でございます。まず、産業廃棄物適正処理推進事業費でございます。これは、産業廃棄物処理施設等への立入検査に係る経費としまして、特に水質調査や分析調査に係る経費でございます。予算としまして、1,189万5,000円をお願いしているところでございます。

その下、廃棄物不法投棄対策強化事業費でございます。これは、不法投棄の防止を目的としまして、本課のほうに、廃棄物適正処理推進指導員、これ、会計年度職員であります。1名を配置しております。日々のパトロール等を行っております。この人件費、また、夜間パトロールとしまして、民間事業所に委託をしている、そして、イベントとして、県と合同で行っている不法投棄防止のイベント、そうしたものに係る経費でございます。553万7,000円を計上しているところでございます。

その下、不法投棄産業廃棄物代執行対策事業費でございます。あわせて、その1つ飛ばしまして、22 ページの一番下でございますが、PCB廃棄物処理対策推進事業費でございます。これは、ともにですけども、それぞれ不法投棄、また、PCBの廃棄物、これらが発見をされた、そして、それが市民生活に重大な影響を及ぼすという場合に、早急に対策が必要ということで、その投棄者等が不明の場合もあるかと思いますが、本市が代執行として処分をすると、そのための経費として、それぞれ500万ずつ計上しているものでございます。

続きまして、23 ページ、中ほどでございます。公害防止対策費でございます。まず、水質・土壌対策費でございます。これは、公共用水や地下水、あとは、事業場からの排水、そうしたものの検査に係る費用でございます。3,315万5,000円を計上しているものでございます。

その下でございますが、騒音・振動・悪臭対策費でございます。これは、騒音や振動、悪臭対策、そうした市民からの問合せであったり、苦情、そうしたものもありますし、また、自動車

の騒音、これは、特定の場所を定めまして、自動車の騒音の測定をするものでございます。これらに係る経費としまして、338万2,000円を計上しております。

その下でございます。大気汚染物質調査事業費でございます。これは、本市に設置をしております2か所の大気の測定局で行います、大気有害物質の測定に係る経費でございます。経費としまして、1,520万8,000円を予定しております。

先ほど申し上げました、産業廃棄物の関係、また、公害の関係につきましては、本市の事業、あわせて、東部4町に係るものもでございます。東部4町に係るものにつきましては、県のほうから負担金として頂いております。それらは、その他の財源として入れておりますので、御承知おきいただきたいと思っております。以上です。

◆砂田典男分科会長 山根局長。

○山根康子郎環境局長兼生活環境課長 はい。環境局長の山根でございます。続きまして、次のページ、24ページを御覧ください。中ほどでございます。予算書は231ページでございます。事業別概要はございません。清掃費、清掃総務費、ごみの減量化及び再資源化対策費のごみの減量化及び再資源化対策費でございます。これは1,150万円でございます。この事業は、再資源化等推進事業に協力する団体に対しまして、奨励金を交付することで、年間を通して、資源の回収事業を促進する事業でございます。市民のごみの減量・リサイクル及び分別意識の向上や、市民の地域コミュニティの活性化として、町内会活動等の促進につながる事業でございます。

続きまして、その下でございます。予算書は、同じく231ページ、事業別概要は85ページの下段でございます。これも、ごみの減量化及び再資源化対策費の家庭ごみ有料化事業でございます。予算は1億1,824万5,000円でございますが、これは、ごみの減量化を推進するため、平成19年10月から、家庭ごみの有料化を実施してございまして、その家庭ごみ有料指定袋の作製や、家庭ごみの分別ガイド、また、4月から、この4月からですけれども、新たに分別をすることになります有害ごみなどの啓発チラシやポスターの作成を行うものでございます。

続きまして、次のページ、25ページ、上から2番目でございます。予算書は同じく231ページ、事業別概要は86ページの下段でございます。これは、ごみ収集委託費のふれあい収集事業費349万4,000円でございます。この事業は、独り暮らしの高齢者及び障害のある人が、家庭ごみをごみステーションに持ち出すことが困難な場合に、戸別に収集を行いまして、在宅生活の支援を行う事業でございます。平成29年度から、市内全域を対象に実施しておりますけれども、昨年の令和4年度から、12月から2月末までの冬季に限定いたしまして、対象者の枠を拡充してございまして、利用者も増加傾向でございます。

続きまして、その下でございます。予算書は同じく231ページ、事業別概要は87ページの上段でございます。これは、じんかい処理費のごみ収集委託費でございますが、10億6,953万1,000円でございます。これは、市内約4,400か所のごみステーションから、各ごみ処理施設までの家庭ごみの収集運搬業務の委託に係る経費でございます。来年度、令和6年度からですが、収集区分に有害ごみを追加いたしまして、月1回ごみステーションの収集、また、乾電池等の収集対象品目に、ボタン電池や充電式電池も追加いたしまして、収集を行ってまいります。

続きまして、次のページ、26ページが一番上でございます。予算書は同じく231ページでございます。これは、東部広域行政管理組合負担金（じんかい）の可燃物処理施設管理運営東部広域負担金3億937万2,000円でございます。これは、可燃物処理施設リンピアいなばの運営管理を行う鳥取県東部広域行政管理組合に対しまして、本市を含む構成市町でございます組合の負担金条例に定められた負担割合に応じまして、管理運営費を支払う負担金でございます。公正かつ適正な施設の運営管理を委託するものでございます。

続きまして、同じく26ページの下から2番目でございます。予算書は233ページ、事業別概要は88ページ上段でございます。これは施設維持管理費でございますが、1億6,381万5,000円でございます。これは、廃止になりました焼却施設の管理に行います、管理を行うとともに、廃焼却施設の解体計画に沿って、順次解体を図るものでございまして、令和6年度は、神谷清掃工場の解体に向けた調査設計、また、佐治用瀬処理施設の解体工事、そして、今廃止しております3施設でございますが、国府町クリーンセンター、レインボーふくべ、ながおクリーンセンターの施設管理を行うものでございます。以上でございます。

◆砂田典男分科会長 山川支所長。

○山川泰成国府町総合支所長 はい。国府町総合支所の山川でございます。それでは、これより、総合支所の関係の説明をさせていただきます。資料3を少し飛びまして、35ページ中段でございます。予算書は175ページ、事業別概要は248ページ、地域おこし協力隊事業費、予算額340万4,000円をお願いしております。こちらにつきましては、地域おこし協力隊を1名配置しまして、空き家調査データベース等のUJIターン受入れ体制の整備を行うために、予算をお願いしているものでございます。具体的には、国府地域で、ブドウの生産、ワインの醸造を行っております、株式会社兎ッ兎様に委託を予定しておりまして、そちらの兎ッ兎さんに、UJIターンに特化した協議会を立ち上げていただきまして、そちらと地域おこし協力隊の事業、連携をいたしまして、国府地域での移住定住の促進を強化していきたいというものでございます。以上です。

◆砂田典男分科会長 九鬼支所長。

○九鬼栄一河原町総合支所長 河原町総合支所、九鬼でございます。同じく、資料の3、36ページ、一番上でございます。地域プロジェクトマネージャー事業費です。予算書は175ページ、事業別概要書は251ページ下段でございます。企画費、新市域特別振興費、地域プロジェクトマネージャー事業費として、河原地域に、地域プロジェクトマネージャー1名を配置するための経費、324万9,000円を予算計上させていただいております。

現在、河原地域では、空き家が年々増加傾向にあるとともに、人材不足などにより、地域活動が低迷しつつあります。このような中、空き家対策として、地域の活性化を、空き家対策と地域の活性化を図るため、地域の実情を理解し、様々なアイデアやスキルを有しながら、関係者間を橋渡ししつつ、プロジェクトをマネジメントできる人材として、地域プロジェクトマネージャーの配置を予定しております。空き家対策としましては、地域の各団体や住民と連携を取りながら、地域ぐるみで空き家対策に取り組む機運を醸成し、移住者の居住や、店舗などに利活用する仕組みづくりを構築していきます。また、地域活動へのサポートとして、西郷工芸

の郷の取組や、各種イベントへの支援、地域情報の発信などを行うとともに、各活動体制の見直し、効率化、充実を図ってまいります。配置経費の主なものといたしましては、人件費、旅費、住居の借り上げ料などがございます。なお、本事業は、地域おこし協力隊と同じく、国の特別交付税措置の対象となるよう、地域要件等を遵守した雇用を行ってまいりたいと思います。以上でございます。

◆砂田典男分科会長 中原支所長。

○中原 登気高町総合支所長 はい。気高町総合支所、中原です。同じページの下から3つ目の事業でございます。地域おこし協力隊事業費（気高町地域振興課）という分です。事業別概要は256ページの上段でございます。これは、昨年に引き続きまして、地域おこし協力隊の配置に要する経費ということで、417万7,000円、これ、全て一般財源でございます。この協力隊ですが、昨年の令和5年1月より、1名配置しておりまして、浜村温泉を生かしたまちづくりと、活気のある町並みを再生するために、各種団体との連携をしながら、既存のイベントをはじめ、地域の特産品ですとか、特性を生かしたイベントの調査研究、新たな企画立案、事業提案を行うなど、インスタグラムなどのSNSを活用した情報発信に取り組む経費ということで予算計上しております。以上です。

◆砂田典男分科会長 岡本支所長。

○岡本幸子鹿野町総合支所長 はい。鹿野町総合支所、岡本でございます。説明資料の37ページ、最上段でございます。同じく地域おこし協力隊事業費で、405万9,000円でございます。事業別概要は257ページの上段です。鹿野地域では、かねてから、空き家、空き地、耕作放棄地の課題解決に取り組んでおりますが、本年度1月に、地域おこし協力隊1名を配置いたしました。地域おこし協力隊の事業については、いんしゅう鹿野まちづくり協議会に委託しておりまして、まちづくり協議会の職員として勤務し、空き家に関する課題解決や、古材のリユース、そして、農業商品販売などの地域のPRに取り組んでいただいています。いんしゅう鹿野まちづくり協議会への委託費の主なものは、地域おこし協力隊の人件費、ほとんど人件費でございます。

続きまして、説明資料37ページの中段でございます。文化交流拠点周辺整備事業費926万3,000円でございます。予算書は177ページ、事業別概要257ページの下段です。令和5年度から、NPO法人鳥の劇場が、市の文化交流課、舞台芸術×地域活性化事業費の補助を受けまして、旧鹿野小学校校舎の解体と、文化交流拠点としての建物の整備に取り組んでおります。旧鹿野小学校校舎グラウンドの部分につきましては、この事業で整備をすることにしておりまして、誰もが訪れ、安らげる広場ですとか、駐車スペース、通路などの環境整備を行うこととしております。このたびは、実施設計の委託に係る費用を計上しています。この整備によりまして、劇場や鹿野城跡公園が一体的に利用できます、多様な人々の交流拠点エリアとすることで、文化芸術の振興・産業の振興、そして、交流・関係人口の増加による活性化を目指していきたいと考えております。財源は、一般財源と国の地方創生交付金でございます。以上でございます。

◆砂田典男分科会長 太田支所長。

○太田潤一用瀬町総合支所長 はい。用瀬町総合支所、太田です。資料はぐっていただきまして、

38 ページ、上から3段目ですね、用瀬流しびな行事についてです。予算書は251 ページ、事業別概要は254 ページの上段でございます。観光費、観光活動費の用瀬流しびな行事ということで、この行事への支援に要する経費409万6,000円を予算としてお願いしているところでございます。用瀬の流しびな行事は、毎年の旧暦3月3日に、男女一対の紙びなを棧俵に乗せ、無病息災を願って千代川に流すという、情緒豊かな民族文化行事でございます。幼子によるひな流しであるとか、棧俵の製作実演、ひな飾りの公開など、地域ぐるみで、情緒豊かな用瀬の魅力を情報発信し、地域活性化につなげていくものでございます。

この令和6年度につきましては、4月の11日木曜日と、翌7年の3月31日月曜日の2回実施ということになりますので、2回分の予算についてお願いするものでございます。財源内訳につきましては、29ページ上から4段目にあります、国・県支出金の市町村創生交付金が81万9,000円、一般財源が327万7,000円でございます。以上です。

◆砂田典男分科会長 岡本支所長。

○岡本幸子鹿野町総合支所長 はい。鹿野町総合支所、岡本でございます。説明資料は、40ページ最上段、土木費、都市計画費、公園管理費、鹿野城跡公園管理費530万2,000円でございます。予算書は265ページ、事業別概要は259ページの上段です。鳥取市の指定史跡であり、多くの方が訪れる鹿野城跡公園の除草や、公衆トイレの清掃などの通常管理と、市民の皆さんや観光客の安全を図るため、支障木の伐採や、年次的に木柵に防腐剤を塗る予算を計上しております。その他の財源は、ふるさと納税基金繰入金でございます。以上でございます。

◆砂田典男分科会長 山川支所長。

○山川泰成国府町総合支所長 はい。国府町総合支所、山川です。資料3は41ページ中段でございます。事業別概要249ページ、万葉フェスティバル開催事業費650万7,000円をお願いしております。こちらにつきましては、万葉集、大伴家持にちなんだ短歌募集により、万葉のふるさとをPRするというところで始めました、大伴家持大賞短歌募集事業に要する経費でございます。因幡万葉歴史館の開館と同時にスタートしました、この短歌募集事業ですが、令和6年度で30周年を迎えます。そういったこともありまして、30周年を記念しまして、記念誌の発行とか、記念事業を実施したいと考えておりまして、昨年の予算額よりも300万ぐらい増額をさせていただいておりますが、こういった30周年記念事業の経費ということで増額をさせていただいているものでございます。以上でございます。

◆砂田典男分科会長 田中支所長。

○田中陽一青谷町総合支所副支所長 はい。青谷町総合支所、田中です。令和6年度当初予算債務負担行為の概要について説明させていただきます。資料は、予算書16ページの一番下の段、事業別概要は279ページとなっております。事業名は、青谷上寺地遺跡地域学習環境整備補助金です。限度額は24万円、期間は令和7年度となっております。

現在、青谷高校は、青谷上寺地遺跡を活用したカリキュラムを創設しておりまして、1年次から3年次まで、継続的な学習環境を整えるなど、近隣他県にない考古学を打ち出した学校の魅力づくりを行っております。こうした取組を進めている青谷高校に、青谷上寺地遺跡を活用した学習を履修するため、県外から入学し、鳥取市内に下宿しながら通学する生徒に対して、

生活費の一部を補助することにより、将来の地元就労や地域貢献など、青谷上寺地遺跡を活用した地域の振興につなげようとするものです。

補助金の額といたしましては、令和7年度入学生を2人と想定いたしまして、1万円掛ける12か月掛ける2人で、合わせて24万円となっております。

今後は、青谷高校や鳥取県教育委員会のホームページへの掲載、また、東京で開催される県外生徒の募集イベント等を活用いたしまして、本制度の周知を図り、地域の振興につなげていきたいと考えております。

一般会計の説明は以上です。

◆砂田典男分科会長 本日の分科会では、この議案につきましては説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認等はございますか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

議案第7号令和6年度鳥取市墓苑事業費特別会計予算（説明）

◆砂田典男分科会長 次に、議案第7号令和6年度鳥取市墓苑事業費特別会計予算の説明をお願いいたします。山根局長。

○山根康子郎環境局長兼生活環境課長 はい。環境局長の山根でございます。そうしましたら、43ページを御覧ください。予算書は439ページでございます。

墓苑事業費特別会計当初予算でございますが、まずは、歳入でございます。使用料及び手数料、使用料の墓地使用料で、墓地使用料でございます。2,299万9,000円でございます。これは、今年度、使用料が減少したことから、これまでの推移を踏まえ、53件を見込んでおります。

続きまして、その下でございます。その他墓地等使用料でございます。これは660万1,000円を見込んでおります。これは、合葬式墓地の使用料、また、市営墓地の再募集、これは、円護寺墓地でありましたり、末恒墓苑でございましたりというようなことでの再募集を行うための経費でございます。

続きまして、歳出でございます。次のページを御覧ください。これは、墓苑費、第二いなば墓苑用地取得費でございます。1,955万円でございます。これは、金銭給付契約等に基づきまして、用地の取得費の償還を行うものでございます。

続きまして、その下でございます。墓地管理費の916万3,000円でございます。これは、市営墓地の適正な維持管理を行うことで、墓石等の保護、また、参拝者等の安全を確保するための管理費でございます。主に、墓地の草刈りとか等の経費として、約187万3,000円、また、光熱水費としまして、67万4,000円等の維持管理費等でございます。

歳出・歳入とも、2,973万2,000円の予算でございます。以上でございます。

◆砂田典男分科会長 本日の分科会では、この議案につきましては説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認等はございますか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

議案第13号令和6年度鳥取市電気事業費特別会計予算（説明）

◆砂田典男分科会長 では、次に、議案第13号令和6年度鳥取市電気事業費特別会計予算について御説明をお願いいたします。山根局長。

○山根康子郎環境局長兼生活環境課長 はい。環境局長の山根でございます。そうしましたら、45ページを御覧ください。予算書は525ページでございます。電気事業費特別会計当初予算でございます。

歳入ですが、一番上の諸収入、収益事業収入、売電収入2,729万4,000円でございます。これは、これまで、売電収入の過去3年平均によりまして算出したものでございます。

続きまして、その下でございます。電気事業基金繰入金でございます。1,102万9,000円でございます。これは、今年、維持管理に係る経費といたしまして、修繕等を行うため、その経費を電気事業基金から繰り入れるものでございます。

続きまして、歳出でございます。次の46ページを御覧ください。総務費、維持管理費でございます。これは1,593万8,000円でございますが、いかり原太陽光発電施設に係る維持管理費に係る経費でございます。歳入でも説明をいたしました。これは、維持管理費に係るパワーコンディショナー、パワーコンディショナーの保守に係る取替えと申しますか、修繕等の経費として計上するものでございます。

同会計は、歳入・歳出とも、3,842万6,000円の予算でございます。以上でございます。

◆砂田典男分科会長 本日の分科会では、この議案につきましては説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認等はございますか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男分科会長 はい。それでは、予算審査特別委員会総務企画分科会を終了いたします。

次回は、3月12日、13日の委員会・分科会です。それぞれ、先議分以外の議案の採決、当初予算関連議案の質疑を行いますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、皆さん、お疲れさまでした。

午後4時4分 閉会

令和6年2月定例会

総務企画委員会・予算審査特別委員会総務企画分科会

日時: 令和6年2月28日(水)

10:00~

場所: 本庁舎7階第1委員会室

企画推進部

..... 《 総務企画委員会 》

◎議案【先議分：説明・質疑・討論・採決】

議案第19号 令和5年度鳥取市一般会計補正予算（第9号）【所管に属する部分】

議案第63号 工事請負契約の変更について

◎報告

ホール等文化施設のあり方に関する基本方針の策定について（文化交流課）

自治体情報システムの標準化について（情報政策課）

..... 《 予算審査特別委員会 総務企画分科会 》

◎議案【予算審査分：説明】

議案第1号 令和6年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

市民生活部

..... 《 総務企画委員会 》

◎議案【先議分：説明・質疑・討論・採決】

議案第19号 令和5年度鳥取市一般会計補正予算（第9号）【所管に属する部分】

議案第24号 令和5年度鳥取市墓苑事業費特別会計補正予算（第1号）

議案第30号 令和5年度鳥取市電気事業費特別会計補正予算（第2号）

◎議案【先議分以外：説明】

議案第 40 号 鳥取市気高リサイクル・ドリームハウスの設置及び管理に関する
条例の廃止について

議案第 52 号 鳥取市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について

議案第 55 号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

議案第 56 号 鳥取市過疎地域持続的発展計画の変更について

◎報告

報告第 4 号 専決処分事項の報告について（佐治町総合支所地域振興課）

株式会社セブン-イレブン・ジャパンとのペットボトルリサイクル事業について
（生活環境課）

—・—・—・—・—・ 《 予算審査特別委員会 総務企画分科会 》 —・—・—・—・—・

◎議案【予算審査分：説明】

議案第 1 号 令和 6 年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

議案第 7 号 令和 6 年度鳥取市墓苑事業費特別会計予算

議案第 13 号 令和 6 年度鳥取市電気事業費特別会計予算